

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	板倉 尚子
担当業務	【310】保健領域業務推進事業（学校保健および母子保健領域） 【313】動物に対する理学療法への推進に向けた関係団体連携事業

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
04 月 04 日 (土)		出 席：第 1 回理事懇談会・第 1 回理事会	日本理学療法士協会会館
04 月 05 日 (日)		出 席：組織運営協議会	WEB
04 月 16 日 (木)		陳 情：山際大志郎代議士（動物に対する理学療法）	衆議院第一議員会館
04 月 21 日 (火)		出 席：第 1 回業務執行理事会	WEB
04 月 30 日 (木)		打合せ：日本獣医師会伏見専務理事意見交換	日本獣医師会事務所
05 月 07 日 (木)		意見交換：期末監査事前指導講評への対応	WEB
05 月 09 日 (土)		出 席：期末監査	日本理学療法士協会会館
05 月 10 日 (日)		出 席：第 2 回理事会	日本理学療法士協会会館
05 月 21 日 (木)	○	出 席：日本障害者リハビリテーション協会第 1 回理事会	WEB
05 月 22 日 (金)	○	出 席：テクノエイド協会第 1 回理事会	WEB
06 月 06 日 (土)		出 席：第 55 回定時総会・協会賞授賞式	ベルサール渋谷ファースト
06 月 07 日 (日)		出 席：第 55 回定時総会	ベルサール渋谷ファースト
06 月 08 日 (月)	○	出 席：テクノエイド協会第 2 回理事会	WEB
06 月 08 日 (月)	○	出 席：日本障害者リハビリテーション協会第 2 回理事会	書面評決
06 月 11 日 (木)		出 席：動物に対する理学療法検討部会	WEB
06 月 11 日 (木)		意見交換：農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課小動物獣医療班	農林水産省
06 月 17 日 (水)	○	打合せ：日本障害者リハビリテーション協会総務運営部 次長	日本女子体育大学
06 月 23 日 (火)		出 席：第 2 回業務執行理事会	WEB
06 月 29 日 (月)		打合せ：子どもからだ育ち部会	WEB
所感	・都道府県士会学校保健士会担当者対象アンケート結果 都道府県士会学校保健士会担当者を対象にアンケートを実施し、学校保健事業および部活動支援の現状と課題を把握した。認定スクールトレーナー取得者は多数を占め、各士会で学校保健事業や部活動支援が展開されていた。一方で、人材・予算不足、学校との調整、士会内での位置付けの不明確さが共通課題として挙げられ		

	た。また、動画教材は研修や情報共有に活用されているものの、周知方法や運用ルールに課題がみられた。今後は活動事例の共有、教育委員会等との連携支援、人材育成及び情報発信の強化が必要であることが確認された。アンケート結果を士会担当に共有し活用を促す。 ・子どもからだ育ち部会の設置 幼児の「からだ育ち」を多面的に評価し、身体活動、運動発達、姿勢・動作、生活環境等に関する課題を体系的に整理し、理学療法士が「治療」だけでなく「育ち」を支える専門職として社会に関わる方向性を示し、「子どものからだ育ち支援」における理学療法士の役割が政策文書に明記されることを目指すことを目的に「子どもからだ育ち部会」を設置した。 ・動物に対する理学療法の推進 国会議員、関係団体および行政機関との意見交換を実施した。代議士との面談では、高齢化や疾患により運動機能に課題を抱える小動物の増加を踏まえ、理学療法士の専門性活用の可能性と制度的課題について協議した。議員からは、法制度化は困難であり、まずは臨床現場や飼い主からの需要証明、収益性の可視化、運用モデルの提示が重要との示唆を得た。また、日本獣医師会からは、農林水産省への早期アプローチや公式な協議の場の設置、非常勤等を含む柔軟な連携モデルの検討が有効との意見をいただいた。農林水産省との意見交換では、現行法上の位置づけや制度上の課題、海外事例、需要調査の必要性等について情報収集を行った。これらを踏まえ、当面はニーズ調査、獣医療関係者との理解促進を進め、エビデンスの蓄積と社会的合意形成を図る方針を確認した。
報告日	2026 年 07 月 06 日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。